

国語科 授業デザイン

日 時：平成 25 年 12 月 6 日（金）第 5 校時（13 時 15 分～14 時 00 分）
 学 年：小学部 6 年
 授 業 場 所：本校 小学部 3 組教室（6 年教室）

1. 単元（題材）名

「聞く人の心に届くように発表しよう」今、わたしは、ぼくは

2. 単元（題材）の目標

12 歳の今思うことを伝えるために、話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができるようにする。

3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（全 6 時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第 1 時	・聞く人の心に届けよう！ わたしのメッセージ 自分の考えをスピーチで伝えた経験を振り返り、相手に伝える時に大切なことについて話し合う。	・ IWB・TPC・ 教材提示装置
第 2 時	・スピーチで伝えたいことを決める。 これまで書きためてきた文章や「続けてみよう」で取り組んできたものを読み返し、どのようなことを伝えたらよいか、メッセージの内容を決める。	・ IWB・TPC・ デジタルカメラ
第 3 時	・スピーチの原稿を作る。 原稿を作る上で留意点やスピーチの内容の構成を確認する。	・ IWB・TPC
第 4 時 (本時)	・伝えたいことを印象付けるために、効果的な発表の仕方を考える。 印象深いスピーチにするためにはどのような発表の仕方がよいか話し合う。	・ IWB・TPC
第 5 時	・スピーチの練習をする。 発表に必要な資料などを準備したり整理したりし、個人で練習する。	・ IWB・TPC・ 教材提示装置
第 6 時	・スピーチの発表会を行う。 発表会を開く。	・ IWB・TPC

4. 本時の目標

課題解決に向けて、自分の立場や意図をはっきりさせて話したり書いたりする。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	・導入 ・展開
活用する者〔目的〕	・児童〔個別学習 ・協働学習 〕 ・指導者〔・コンテンツ提示 ・資料提示〕
活用するコンテンツ	デジタル教科書，コラボノート，デジタルカメラ
活用する機器	・ IWB ・ TPC

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<p>一斉学習</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p> <p>伝えたいことを印象付けるために効果的な発表の工夫を考えよう。</p>	IWB (指導者)	【IWBでデジタル教科書と前時までのコラボノートを提示する】
展 開	<p>個別学習</p> <p>○前時に書いたスピーチ原稿を読んで、自分のスピーチ内容に合った効果的な発表の工夫をコラボノートに書き込む。</p> <p>協働学習</p> <p>○印象深いスピーチにするためには、どのような発表の工夫がよいか話し合う。 ・少人数グループで話し合う。</p>	TPC (児童)	<p>・伝えたいことの要旨をまとめ、伝え方の手順を考える。 【TPCで前時までのコラボノートの学習ページを振り返る】</p>
ま と め	<p>○スピーチ内容や発表の工夫について、発表する。</p> <p>○スピーチ内容や発表の工夫について、改善したり付け加えたりする。</p>	IWB (指導者) (児童) TPC (児童)	【IWBでコラボノートを提示する】

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

課題解決に向けて、自分の立場や意図をはっきりさせて話したり書いたりしようとしている。

8. 準備物

発表に必要な資料，IWB，TPC，デジタル資料（デジタル教科書・コラボノート）